

しんぶん赤旗を
日刊3,497円／月
日曜版990円／月
申込み 363-1450
電子版もあります

民主なかがわ

第261号

日本共産党中川区編集委員会編集
中川区荒中町157荒中マンション
電話 363-1450
FAX 352-7801
<http://egami-hiroyuki.jcpweb.net/>

中川フエスティバル楽しく交流

中川区内の民主団体、個人の交流の場「中川フエスティバル」が11月2日の日曜日、中川区富田公園で開催されました。中川区内の労働組合、業者、女性団体、地域の皆さんが実行委員会を作り、要求や課題を出し合い交流する催しです。32回目です。

日本共産党イカ焼き出店

日本共産党中川区後援会



会場で、イカ焼きを話題に参加者と談笑するえがみ氏（右から2人目）

水道料金値上げ許さない

として模擬店イカ焼きを出店しました。下之一色の魚屋さんが仕入れたイカを材料に焼きました。イカは、南米アルゼンチン沖で捕獲され、中国で加工し、日本に輸入されたそうです。えがみ博之市議予定候補もイカ焼きに参加し、買いに来た方々と楽しく語らいながら売っていました。

昼には、各団体の自由なアピールタイムがあり、えがみ氏は、名古屋市の10月から水道・下水道料金を値上げしたことを取り上げ、「市民が物価高で苦しんでいる時に、国の悪政に追い打ちをかける値上げは認められません。中川区選出市議員6人全員が賛成しました。日本共産党は市民生活を守るためには、税金を原資とする一般会計から繰り出すべきだと対案を示して反対しました」と、報告。参加者は、天気恵まれ楽しく交流していました。

えがみ博之氏の擁立発表

日本共産党は、1年半後の2027年4月予定の名古屋市会議員選挙に、中川区選挙区からえがみ博之氏

を擁立することを11月4日発表しました。

日本共産党は、名古屋会議選で定数68のうち現有3

議席（北、天白、緑）に加え、議会運営に直接参加でき、代表質問を行える5人以上の交渉会派をめざし、中川区での立候補擁立を決めました。



決意語る

記者会見に臨ん

11月4日の市議予定候補発表後、区内のしんぶん赤旗読者のみなさんをはじめ、要求を聞いています▼10月からの水道・下水道料金の値上げを中川区の6人の市議員全員が賛成した、と話す▼それは知らなかった、の声▼物価高で苦しむ市民の誰にも効果がある消費



日本共産党が議会に必要

えがみ博之

自民・維新政治は、無視しました。そのうえ、減税日本広沢市長は、料金値上げ。それに賛成する自民、公明、立憲、元減税の議員は市民生活を守るどころかさらに市民を苦しめています▼市民生活守り、対案を示して頑張ります、と決意を語りました▼人によっては、名

ですがみ氏は、「上下水道料金値上げに、中川区6人の市会議員全員が賛成しました。物価高で苦しむ市民を守る議員が必要です。市民合意のない名古屋城天守閣木造復元総事業費500億円以上の見直しや、無駄浪費の公共事業の見直しで市民生活を守る議員をめざします」と決意を語りました。

県議選でも擁立予定

県議選では、豊橋の現有議席と、一宮選挙区で議席獲得をめざします。中川区も擁立をめざしています。

弁護士相談12月18日（木）午後6時半 電話連絡363-1450 江上事務所

共闘の力で、高市発言撤回を

小選挙区愛知5区（中川、中村、清須）で、市民と野党の共闘を実現しようと活動している「つながろう愛知5区の会」主催の学習会が11月29日、清須市内で開催されました。今回は、愛知10区での共闘候補である藤原のりまさ衆院議員らを講師に共闘の経験が話し合われました。

日本共産党を代表してえがみ博之前名古屋市長がはいさつしました。

えがみ氏は、高市首相が11月7日、衆院予算委員会で「台湾有事を存立危機事態と政府が認定すれば、自衛隊を海外に派兵する」という趣旨の発言撤回を求めました。「存立危機事態」を明記した安保法制Ⅱ戦争法の廃止が「市民と野党の共闘」の原点であり、共闘の力で撤回を求めます、と発言しました。

台湾住民の声を



そのうえで、「台湾問題は、台湾住民の自由と表明された民意を尊重し、平和解決されるべきです。中国

原発いらないの声続く

「原発いらない」水曜午後6時五女子出展のちようちんデモが11月12日も行われました。

柏崎刈羽再稼働反対



高市自民党・維新の会連合政権も原発推進です。これだけ異常気象で、稼働中はCO2排出が少なくいと言っても福島原発事故で明らか異質の危険がある原発は廃止しかありません。にもかかわらず、新潟柏崎刈羽原発再稼働を知事が賛成。北海道泊原発も。「原発再稼働反対」参加者が元気に歩いていました。

の台湾に対する武力行使や武力による威嚇は許されません。同時に、アメリカや日本が軍事的に介入するこ

戦争法廃止の原点で

住環境を守る責任ある回答書を

中川区石場町の高層住宅建設について、10月21日の建築主による説明会後、11月6日、27日と説明会が行われました。周辺住民で「石場・柳島を明るくする

代表者名の回答書提出を

「高市発言は撤回せよ、そして、安保法制廃止を何としても実現しましょう。市民と野党の共闘の推進、さらに、外国人差別を許さないことも含め新しい国民的、民主的共通をつくりましょう」と呼びかけました。

建築主側は、代表の委任状があり、取締役が参加として回答書提出を拒否。住民側は、「委任は、建築側内部の問題であって、会へは回答書で回答すべきだ」と主張。「持ち帰って、提出方法について検討します」

プライバシー覗くな

7階建て計画建物から、建物南側住宅ではバルコニーから、北側住宅では共用廊下から、「覗かれるよう対策を取ってほしい」と要望。しかし、建築主側は、

日影に配慮を

「できない」の一点張り。住民側は、「樹木などで対応するとか何らかの誠意を見せてほしい」と強く要望。

11月6日、会提出の要求書の一部抜粋

- I 回答書は、本会代表あて、建築主代表名で提出すること。
- II 建築物とそれにかかわる事項
 - 1 風害に対応すること。北側隣地との境について誠意ある対応を行うこと。
 - 2 各階北側通路から、また、南側ベランダからのぞかれることを気にしているわけです。目隠しなどの対応を行うこと。
 - 3 雨水流出抑制については、雨水流出抑制の必要性の認識の有無と対応を行うこと。
 - ① 必要性は、集中豪雨などで想定外の雨量があることもあり、降った雨が、駐車場の出入り地盤から直接道路に流出し、周辺住宅に一気に流れてくることを防ぐためです。その認識はありますか。

既設建物の場合、敷地の大部分が建物で、建物に降った雨は、直接下水道に流れ、周辺道路、周辺住宅に流れることは限られています。しかし、本計画は、周辺が駐車場で、その駐車場は、「密粒アスファルト舗装」となっており、緑地があるからといって、既設建物より、周辺に流出する雨水量は明らかに増加します。その認識はありますか。
 - ② 本会は、雨水流出抑制が必要と認識していますから、対応が必要です。少なくとも「浸透性舗装」などに変更を。
- III 工事期間にかかわる問題
 - 1 工事時間

回答は、日曜日すら工事を行う場合があるというものです。休日家庭でくつろぐことをどのように考えているのですか。通学時間をさけ、工事は、8時半～17時までにする。日、土、祝日の休みを行うこと。

12月早朝宣伝

工事時間や工事の休日についても一定前進が見られました。

無料相談（子育て・教育問題も）毎週月・木 午後6時半から8時
弁護士相談 毎月第3木曜 えがみ博之事務所まで電話363-1450

1日	月	あおなみ線小本
2日	火	下之一色
5日	金	J R 春田
9日	火	万場小橋
12日	金	地下鉄高畑
16日	火	名鉄山王
19日	金	近鉄戸田
23日	火	近鉄伏屋
25日	木	あおなみ線荒子
26日	金	あおなみ線中島
7日	30分	から8時
新春元旦宣伝午前0時		
荒子観音南大門前		